



十石堀で開催、小学生の校外学習



海外からの視察を受け入れて十石堀を案内

コミュニティ部門 茨城県 北茨城市 **十石堀維持管理協議会**

先人のレガシー十石堀に学び人と地域を育む



地域で歴史や農地維持の勉強会を開催



選定証を受賞（第7回全国選定）

該当カテゴリ

農林漁業、農村文化体験

伝統の継承

教育機関との連携

概要

- 十石堀は、江戸時代（1669年）に建設され現在に至るまで維持管理されてきている。昭和57年（1982年）に、維持管理と啓発を目的に協議会を設立し、エコツーリズムや地域学習等を実施。
- 十石堀の歴史だけでなく、炭鉱跡や地質遺産等を含めたエコツーリズムを行っており、地域観光の資源としての役割も果たす。



伝統継承に向けて建造技術の現地調査活動

成果

- 小学生の校外学習、エコツーリズム等の参加者は273人（令和元年度）。地域資源を受け継ぐ次世代の育成が進んでいる。
- 平成31年1月に市の史跡指定、令和元年9月には世界かんがい施設遺産に登録。この結果、地域内外で関心が高まり来訪者数が増加。
- 行政と連携した市民講座や県民大学講座（現地研修）のほか、アメリカ・カナダからの視察を受け入れ。